

令和7年(2025年)2月7日
総合政策部 文化スポーツ課

第20回 湖南市美術展の開催について

■趣旨・目的

市民に日頃の創作活動の成果を発表する機会を提供し、市民が身近に文化芸術を鑑賞する場として開催します。

■主催 湖南市、湖南市美術展実行委員会

■会期 令和7年2月10日(月) ～ 令和7年2月16日(日) 午前9時～午後5時(16日のみ午後4時まで)

■場所 市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)

■内容 出品のあった192点の絵画、書、写真、工芸・立体4部門の作品を展示します。 なお、無鑑査や委嘱作品などを含めた展示作品総数は、209点になります。

■審査 令和7年2月2日(日)午後2時に実施 絵画、書、写真、工芸・立体の4部門における出品作品の審査結果は、別紙のとおりです。

■表彰式 令和7年2月16日(日)13時30分～ 市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)

■問い合わせ

担当課名: 文化スポーツ課

担当者名: 岡本

(直通)0748-72-2133 (湖南市甲西文化ホール ※10日(月)は休館のため0748-69-5585へ)
(FAX)0748-72-7305



〒520-3288

滋賀県湖南市中央一丁目1番地

湖南市役所 秘書広報課

TEL 0748-71-2300 FAX 0748-72-1467

第20回 湖南省美術展 全受賞者

賞		部門	氏名	(ふりがな)	作品名	(ふりがな)	
市長賞		絵画	鮎川 美知子	あゆかわ みちこ	春 告げる(高島市ザンソウ群生地にて)	はるつげる(たかしましげんそうぐんせいちにて)	
		書	鈴川 愛子	すずかわ あいこ	詩	し	
		写真	寺田 裕彦	てらだ ひろひこ	獲物見つけた!	えものみつけた	
		工芸・立体	眞田 義昭	さなだ よしあき	穴窯窯変大壺	あながまようへんおおつぼ	
市議会議長賞		絵画	間宮 伊都子	まみや いつこ	春待日	はるまつひ	
		書	松田 百合子	まつだ ゆりこ	万葉集	まんようしゅう	
		写真	橋本 正次郎	はしもと まさじろう	祈願	きがん	
		工芸・立体	田口 真璃子	たぐち まりこ	孔雀	くじやく	
市教育長賞		絵画	勘崎 優那	かんざき ゆな	すべる～!	すべる～	
		書	大谷 栞理	おおたに しおり	臨 魏霊蔵造像記	りん ぎれいぞうぞうぞうき	
		写真	小川 武司	おがわ たけし	目、目、目	め、め、め	
		工芸・立体	角 好未	かど このみ	駿馬	しゅんめ	
特選	朝日新聞社賞	絵画	古川 富美子	ふるかわ とみこ	古民家	こみんか	
	京都新聞賞	絵画	土山 道夫	つちやま みちお	冬の旅	ふゆのたび	
	産経新聞社賞	写真	岡路 伸也	おかじ しんや	海女	あま	
	読売新聞社賞	書	三島 明季	みしま みつき	米芾 蜀素帖	べいふつ しよくそじょう	
	エフエム滋賀賞	絵画	山井 喜久江	やまい きくえ	ひまわり	ひまわり	
	中日新聞社賞	絵画	田中 たみよ	たなか たみよ	誕生	たんじょう	
	毎日新聞社賞	書	原岡 佑衣	はらおか ゆい	杜甫五言律詞	とほごこんりっし	
	NHK大津放送局長賞	工芸・立体	栗原 菜生子	くりはら なおこ	酉神将	とりしんしょう	
	KBS京都賞	工芸・立体	清田 加代子	きよた かよこ	陶灯り 癒やしの樹	とうあかり いやしのき	
BBCびわ湖放送賞	工芸・立体	肥後 訓次	ひご くにじ	岩山	いわやま		
特選		絵画	宮治 喜久美	みやじ きくみ	柿日和	かきびより	
		書	太田 友香	おおた ゆか	夕されば	ゆうされば	
		書	柘原 菜々美	つげはら ななみ	九成宮醴泉銘	きゅうせいきゅううれいせんめい	
		写真	山本 靖幸	やまもと やすゆき	天狗の舞	てんぐのまい	
		工芸・立体	藤本 信也	ふじもと しんや	型紙彫刻「カルディの伝道師」	かたがみちようこく かるでいのでんどうし	
湖南ロータリークラブ賞		絵画	井上 姫乃	いのうえ ひめの	見交わす	みかわす	
		書	野村 こころ	のむら こころ	臨 中務集	りん なかつかさしゅう	
		工芸・立体	深尾 篤範	ふかお あつり	えいえいおー!!	えいえいおー	
		工芸・立体	寺田 悠人	てらだ ゆうと	Wティラノサウルス	だぶるていらのさうるす	
佳作	絵画		藤本 修	ふじもと おさむ	冬の逆さ伊吹	ふゆのさかさいぶき	
			西川 秀子	にしかわ ひでこ	生命力	せいめいりよく	
			岸山 平	きしやま ただし	いやしの道をゆく	いやしのみちをゆく	
			野崎 かおる	のざき かおる	翔る	かける	
			福澤 昭吉	ふくざわ あきよし	アトリエにて	あとりにて	
			松榮 凜	まつえ りん	ひと休み	ひとやすみ	
			札本 倫子	ふだもと みちこ	絆	きずな	
			武藤 恵理香	むとう えりか	大哉心乎	だいなるかなこころや	
			米谷 英敏	よねたに ひでとし	画家が好んだ港の風景	がかがこのんだみなとのふうけい	
		書		山本 堅嗣	やまもと けんじ	閑居静思	かんきよせいし
				三島 悠月	みしま ゆづき	王維詩	おういし
			写真		今元 久美子	いまもと くみこ	つまんないの
		植田 孝志		うえだ たかし	新海の夏空	しんかいてきなつぞら	
		木村 実		きむら みのる	目前の積乱雲	もくぜんのせきらんうん	
		広岡 昇		ひろおか のぼる	両親に守られて	りょうしんにまもられて	
	工芸・立体		丹 賢治	たん けんじ	田中・デンチュウデゴザル	でんちゅうでござる	

(出陳状況)

部門	絵画	書	写真	工芸・立体	合計
一般作品数	61	42	52	37	192
(内入賞作品数)	(18)	(10)	(9)	(10)	(47)
選外(展示しない)	-	-	-	-	(0)
特別出陳数	6	7	1	3	17
総陳列作品数	67	49	53	40	209

※ 特別出陳 : 審査員、委嘱出品、無鑑査作品、美術展実行委員

湖南省美術展 審査結果および講評

絵画の部

審査員 日展会友
光風会会員
望月 通代

総評

力作が多かったです。

例年に比べてジャンルがいろいろありバラエティに富んだ作品が多いように感じました。
皆さんが努力しておられるので心を込めて審査させて頂きました。

惜しくも賞に入らなかった方も次回頑張ってください。

市長賞

「春 告げる（高島市ザゼンソウ群生地にて）」 鮎川 美知子

春の訪れを待っていたザゼンソウが枯れ葉の中から出てくる様子を生き生きと描いています。画面構成もよく生命力のあふれた秀作です。

市議会議長賞 「春待日」 間宮 伊都子

枯木を白で統一して、白と淡い色で画面をうまくまとめてあり色も美しいです。
細かいところにも神経の行き届いた魅力的な作品です。

市教育長賞 「すべる～」 勘崎 優那

すべり台で遊んでいる子どもの様子が生き生きと描かれています。
画面構成もよく子どもや周りの様子も丁寧に描いています。

特選 朝日新聞社賞 「古民家」

古川 富美子

表現力もあり手慣れた描き方です。

古い民家と柿の木、そこに動きを感じさせるけむりを入れた、懐かしい郷愁を誘う良作です。

特選 京都新聞賞 「冬の旅」

土山 道夫

山里に雪がしんと降っている様子を白と灰色で見事に表現している秀作です。

特選 エフエム滋賀賞 「ひまわり」

山井 喜久江

ひまわりの1つ1つに心を込めてのびのびと大胆に描けています。

花の配置も良くひまわりのエネルギーが伝わる力強い作品です。

特選 中日新聞社賞 「誕生」

田中 たみよ

シュール的で個性的な作品です。

卵から恐竜が生まれて来る様子が上手く捉えられています。

周りの細かいところにも工夫が見られ、発想が面白いです。

特選 「柿日和」

宮治 喜久美

暖色を中心にして柿をとる子どもの様子が楽しく描かれています。

細かいところにも気を配り描写力が感じられます。

ほのぼのとした心温まる作品です。

湖南ロータリークラブ賞 「見交わす」

井上 姫乃

普段動かない鳥が急に動き出した様子を画面に大きく入れた力強い作品です。

周りの暗い色の中にも変化が見られ、奥行きも感じられる努力作です。

佳作 「生命力」

西川 秀子

タイトルのごとく木の幹を画面に大きく描き、力強い生命力を感じる作品です。
細かい仕事ができています。

佳作 「ひと休み」

松榮 凜

対象物としっかり向かい合って描いた好感の持てる作品です。
これからの成長を期待したいです。

佳作 「いやしの道をゆく」

岸山 平

水墨画に手慣れた感じがします。
下に人物を入れることでこの絵が引き締まっています。

佳作 「画家が好んだ港の風景」

米谷 英敏

小さい作品ですが描写力が見られます。特に画面の下半分が上手くいっています。
上の建物の描き方に工夫があるともっとよくなります。

佳作 「冬の逆さ伊吹」

藤本 修

画面中央の木の表現がとても上手くいっています。
全体的に色づかいが上手いです。

佳作 「アトリエにて」

福澤 昭吉

画面全体をまとめるのが上手いと思います。
ただ人物のデッサンが少し気になります。

佳作 「翔る」

野崎 かおる

水鳥の瞬間の動きを捉えた着眼が面白い作品です。
水の表現に特に力を入れられた様子が伝わります。

佳作 「大哉心乎」

武藤 恵理香

お坊さんが拝んでいる様子を丁寧に描いています。

少し写真のようであるので、自分の気持ちを入れられたら表現も変わると思います。

佳作 「絆」

札本 倫子

人と人とのつながりが強く感じられる心温まる作品で人に訴えるものがあります。

手の表現は上手くいっています。

湖南省美術展 審査結果および講評

書の部

審査員 日展準会員
読売書法会常任理事
岡 本 藍 石

総評

第20回の湖南省美術展を迎え、力強い作品や趣きのある作品が出品されました。高齢者社会の中、高校生の出品が半数を超え、書文化の継承がなされていることは嬉しいです。篆書、隸書、草書、楷書、行書、そして仮名と幅広い表現があり、見応えがありました。賞に入られた方々は、市制20周年の事業に華を添えられました。おめでとうございます。

市長賞 「詩」

鈴川 愛子

力強い運筆が生命力を感じさせます。速度の変化もあり、見応えのある秀作です。大字と細字の差があり、見る人が楽しいと思います。

市議会議長賞 「万葉集」

松田 百合子

万葉歌を題材に散し書きが物語りを造り上げています。落ち着いた表現となりました。

市教育長賞 「臨 魏霊蔵造像記」

大谷 栞理

北魏の造像記のもつ力強い運筆が良く表現出来ています。線を緩めず引き切ることで作品に緊張感を生んでいる秀作です。

特選 読売新聞社賞 「米芾 蜀素帖」

三島 明季

宋代の行書の代表作の臨書です。丁寧な形臨と柔らかい運筆が確かな技術を証明しています。

特選 毎日新聞社賞 「杜甫五言律詞」

原岡 佑衣

明清時代の傅山のゆったりとした草書です。手首を使わずに腕全体で書けていると思います。赤の冷金箋も効果的です。

特選 「夕されば」

太田 友香

丁寧で慎重な書き出しから中程には変化をつけて盛り上げ、終わりをまとめる安定した構成で秀作です。

特選 「九成宮醴泉銘」

柘原 菜々美

唐代の名品の楷書の臨書を紺紙に金泥で書く集中力は素晴らしいです。字間、行間ともに美しく仕上がりました。

湖南ロータリークラブ賞 「臨 中務集」

野村 こころ

根気強く、8葉の紙に書かれた細字。筆も立ち、線もしっかりと引けています。同じように書くには気持ちが続くことが大切ですが、見事な出来ばえです。

佳作 「閑居静思」

山本 堅嗣

四字の中に抑揚感も表現された豊かな作品です。

佳作 「王維詩」

三島 悠月

隸書は一字一字に字間が必要ですが、美しくまとまりました。

湖南省美術展 審査結果および講評

写真の部

審査員 京都写真家協会会員
二科会写真部会友
小林 達也

総評

写真の面白さの一つに、被写体が必ず存在していて作者がいかにタイミング良くその瞬間に對峙し表現できるかにあると思います。

今回も瞬間に恵まれた個性的な作品が多く、楽しく審査をさせていただきました。これからもオンリーワンを目指した作品作りに励んでください。

市長賞 「獲物見つけた！」

寺田 裕彦

とても複雑で要素の多い被写体を一瞬にまとめあげた、作者の感覚の良さに惹かれました。手前の網もしっかりと色が出ており背景の白い雲と青空のバランスも良くタイトル以上に内容のある非常に優れた作品です。

市議会議長賞 「祈願」

橋本 正次郎

目には見えない「祈り」や「願い」を作者の経験値とプリントワークの良さで表現された作品です。画面のほとんどを煙で占め、人物を小さく左下に配置した構図と中央の赤い炎の表現も見事です。

市教育長賞 「目、目、目」

小川 武司

無駄のない画面構成と後ろ姿で祖父と孫の一瞬の感情と絆までを表現した素晴らしい作品です。二人の足のかたちや手の位置も申し分なく大変目を引きました。

特選 産経新聞社賞 「海女」

岡路 伸也

写真ならではの面白さのある作品です。背景に全く写り込みが無く被写体である人物に集中し鑑賞できます。重なり具合も良く、人物を少し左端に寄せてある構図も魅力的です。

特選 「天狗の舞」

山本 靖幸

炎の表現と迫力に先ず惹かれました。結構な広角レンズで撮影されてますが、ここまで被写体に近寄れたことが非常に効果的で成功しています。この作品も目を引きました。

佳作 「つまんないの」

今元 久美子

何気ない、ひと時を上手くとらえた作品です。3人の子供の配置も良く、犬の仕草がタイトルを表現しています。計算された見せ方ですが、それを感じさせないところが最大の魅力です。

佳作 「両親に守られて」

広岡 昇

白とブルーの色調で表現された非常に美しい作品に仕上がっています。背景の流れ具合も的確で、作者の美的感覚の良さが強調されています。

佳作 「新海の夏空」

植田 孝志

被写体を借りて作者自身の内面描写が上手く表現されています。少しくすんだネガフィルムの様な発色も、少し変わった面白いタイトルにマッチしています。

佳作 「目前の積乱雲」

木村 実

非常にシンプルですが、印象的な作品です。画面半分から上の変化の少ない雲が、積乱雲と空のブルーを際立てています。シルエット部分の割合も的確です。

湖南省美術展 審査結果および講評

工芸・立体の部

審査員 日展会員
日本現代工芸美術家協会本会員

山 本 由 紀 子

総評

益々の力作揃いで賞を決めるのに大変でした。昨年よりも数が多く出品されていて、高校生の若い人達の出品もあり、これから先にも楽しみが増えました。

市長賞 「穴窯窯変大壺」 眞田 義昭

穴窯で焼かれていて、信楽の土味が醸し出す独特の世界が現れています。
肩の張り、口の表情は緊張感も有り、豊かさもあり、灰かぶりの景色も素晴らしい状態で焼き上がっています。

市議会議長賞 「孔雀」 田口 真璃子

伝統工芸で摘み細工と言う細かい手仕事です。
作り方で昨年は平面で出品されていましたが、今回は立体での出品です。
色んな糸、生地を使って孔雀の堂々たる姿に出来ており、じっと見ていると動き出しそうに見えてくる。見事な作品です。

市教育長賞 「駿馬」 角 好未

アルミ缶を利用したのでしょうか。
細かく繋ぎ合わせて作られていて、立ちポーズの馬の躍動感、馬が声高くなく声が聞こえてきそうで、素晴らしい出来栄です。次の作品も見たいと思いました。

特選 NHK 大津放送局長賞 「酉神将」

栗原 菜生子

この作品には少し荒彫りでは有りますが、それが愛らしく、親しみやすく、横に置きたい気持ちにさえなり、いい作品です。

特選 BBC びわ湖放送賞 「岩山」

肥後 訓次

赤土の上に白釉薬がかかり、岩肌に滝時雨がかかっている感じにも思える釉調が面白い。楽しんで作られている様に見受けました。

特選 KBS 京都賞「陶灯り 癒やしの樹」

清田 加代子

きれいに規則正しく大小の穴を開け、所々に色ガラスがはめ込まれ、きれいなスタンドに仕上がっていて良いと思いました。

特選 型紙彫刻「カルディの伝道師」

藤本 信也

綺麗に彫られた型紙での作品です。

細かい彫りで立体感ある顔の表情、手の位置、2枚のパネルでコーヒーカップに注がれている方法も良かったです。

湖南ロータリークラブ賞 「えいえいおー!!」

深尾 篤範

顔の表情が特におもしろい。穴窯特有の色調も加わりテクニックも色々と使われており、3体共々ユニークで、また来年も作品を見たい気持ちにかられています。

湖南ロータリークラブ賞 「Wティラノサウルス」

寺田 悠人

古代の生き物ではありますが、なかなか楽しい形態で表現されています。

焼き色も良く、ティラノサウルスが遊んでいるように見えて良かったです。

たくさん作ってほしいと思いました。

佳作 「田中・デンチュウデゴザル」

丹 賢治

田んぼの中の石ころを色粘土で表現されました。

昨年は色々な災害が起こり、田畑の荒れた状態を想像すると心が痛みます。

そんな心象風景を表現されたのではないかと勝手に思いました。